

七条中学校だより7月10号

京都市立七条中学校

令和8年7月13日

発行:校長 林 秀雄

1学期を振り返って ～成果と課題を次につなげよう～

1学期も終わりに近づきました。この時期は、自分自身の学校生活を振り返り、成果と課題を整理する大切な時間です。ぜひ一人ひとりが4月からの自分の成長を見つめ直し、これからの学校生活につなげてほしいと思います。

1年生の皆さんは、中学校に入学し、新たな仲間との出会いから学校生活が始まりました。校外学習では、「仲間づくり」や「よいチームとは何か」という問いについて考え、協力することの大切さを学びました。また、学習面では、小学校よりも内容が専門的になり、難しさを感じる場面もあったと思います。初めての定期テストを経験し、毎日の授業や家庭学習の積み重ねの大切さを実感できたのではないのでしょうか。

2年生の皆さんは、上級生としての生活が始まりました。後輩ができたことで、自分の行動が学校全体に与える影響を意識する機会も増えたと思います。職場体験では、働くことの意義や責任、社会との関わりについて学びました。体験前と体験後で、仕事や社会に対する見方が変わった人も多かったことでしょう。この経験を今後の学校生活や将来の進路選択に生かしてほしいと思います。

3年生の皆さんは、最高学年として落ち着いた学校生活を送ることができています。6クラスとなった新しい集団の中でも、学習や行事に真剣に取り組む姿が見られました。修学旅行では、多くの成果を得るとともに、課題も明らかになりました。また、進路についてもしっかり考える時期に入っています。将来の自分を見据えながら、一日一日を大切に過ごしてください。

さて、これから各学年や各クラスでは1学期の振り返りを行います。その際には、4月に立てた学年目標やクラス目標に対して、「どこまで達成できたのか」「どのような成果があったのか」「どのような課題が残ったのか」をしっかりと考えてほしいと思います。

ここで大切にしてほしいのが、七条中学校が大事にしている「七条のプロセス」です。七条のプロセスでは、① 目的・目標の設定 ② 情報収集・基礎作り ③ 理解・整理 ④ 思考・判断 ⑤ 協働・表現 ⑥ 行動・実践 ⑦ 振り返り・改善調整 という流れを通して学びを深めていきます。今回行う振り返りは、このプロセスの最後に位置付けられる⑦「振り返り・改善調整」です。しかし、振り返りで終わりではありません。前号の学校だよりでも伝えたように、「手段が目的にならない」ことが大切です。振り返りをするそのものが目的ではありません。振り返りを通して成果や課題を明らかにし、その結果をもとに**次の目標や行動につなげることに意味がある**のです。

例えば、●時間を大切にすることが十分にできていたのか●学習に向かう姿勢はどうだったのか●仲間と協力し、互いを大切にできたのか●誰もが気持ちよく過ごせる学級・学年づくりができたのか。といったことを振り返り、改善策を考え、次の行動へ結び付けてください。

七条のプロセスの中心には、「自律」「探究」「貢献」「努力」「学び」「挑戦」「成長」があります。1学期の振り返りを通して、自分たちがどのように成長したのかを確認するとともに、2学期に向けてさらに挑戦し、仲間や学校に貢献できる姿を目指してほしいと思います。

1学期の成果は自信に、課題は成長のための材料にしてください。そして、一人一人が次の目標に向かって行動し、よりよい学級、よりよい学年、よりよい七条中学校をみんなで創っていきましょう。

保護者の皆様へ

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。早いもので1学期も終わりを迎えようとしています。生徒たちは、日々の授業や学校行事、部活動などを通して、多くの経験を重ね、それぞれに成長した姿を見せてくれました。新しい学年や学級にも少しずつ慣れ、仲間との関わりの中で、自ら考え行動しようとする場面が増えてきたことを大変うれしく感じています。

さて、本日より三者懇談を実施いたします。三者懇談は、学校と家庭が生徒一人ひとりの成長を共に見つめ、今後のよりよい歩みについて考える大切な機会です。学習面や生活面での成果や課題を共有し、生徒自身がこれからの目標を考える場にしたいと考えています。保護者の皆様には、ご多用の中ご来校いただきませんが、お子様のよさや頑張りを認め、励ますとともに、課題についても前向きに話し合える機会になれば幸いです。学校と家庭が同じ方向を向きながら、生徒の健やかな成長を支えてまいりたいと思います。

今後とも本校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

